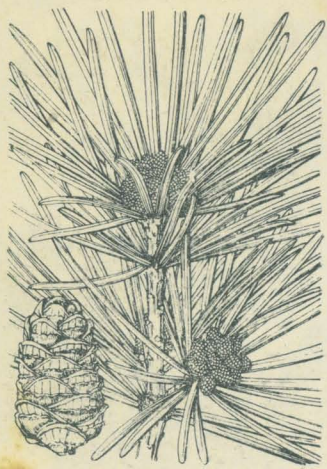


第 2704 圖

す  
ぎ  
科

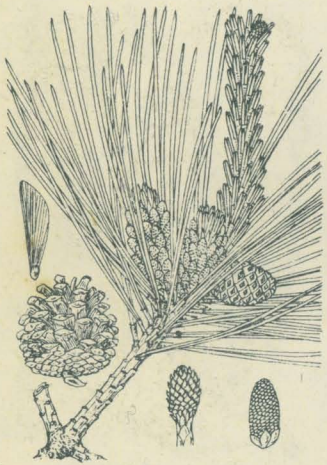


かうやまき  
一名 ほんまき  
*Sciadopitys verticillata*  
Sieb. et Zucc.  
(=*Taxus verticillata* Thunb.)

我國特産ノ常緑喬木ニシテ山地ニ自生スレドモ又庭園ニ多ク栽植セラル。高サ15m許ニ達ス。葉ハ質厚クシテ二葉ノ融合セル特徴ヲ有シ十五乃至四十片輪生シテ倒傘形ヲ呈シ、細長線形ニシテ頭頂ヲ有シ上面深緑色、上下面ノ中央ニ浅キ溝アリ横断面ハ二箇ノ維管束アリ。雌雄同株ニシテ三月開花ス。雄花ハ頭狀ヲ成シテ枝端ニ簇生シ褐色ヲ呈ス。雌花ハ橢圓形ニシテ枝端ニ單生ス。毬果ハ卵狀橢圓形ニシテ直立ス。種鱗ハ扁形、先端ハ圓狀ヲ成シ、内面ノ中央部ニ六乃至九顆ノ狭翼アル圓形種子ヲ弧狀ニ着生ス。苞鱗ハ種鱗ノ中央マデ癒合ス。材ハ建築・器具材トシテ有用ナリ。和名高野まきハ紀州高野山ニ多キヲ以テ名ク、本まきハまきノ眞物ノ意ナリ。漢名金松(誤用)、金松ハ支那ノ特産樹ニシテ我邦ニ産セズ、學名ヲ *Pseudolarix Kaempferi* Gord. (= *P. Fortunei* Mayr. = *P. amabilis* Rehd.) ト云フ。

第 2705 圖

ま  
つ  
科

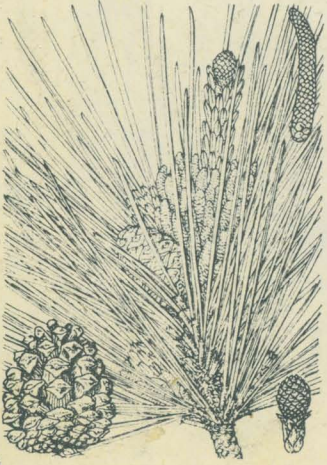


あかまつ 一名 めまつ  
*Pinus densiflora* Sieb. et Zucc.

我邦南ハ九州ヨリ北ハ北海道ノ南部ニ廣ク分布シ山野ニ最も普通ニ自生スル常緑喬木ニシテ通常又諸處ニ植林ヲ見ル。幹ハ直立シテ主枝ヲ車輪狀ニ分チ、枝上更ニ小枝多ク葉密ナリ。大ナル者ハ高サ40m徑1.5m餘ニ達スル者アリ、其上部ノ樹皮ハ赤褐色ヲ呈シ下部ハ暗褐色ノ龜甲狀ニ分裂ス。葉ハ緑色ニシテ銀狀ニ雙生シテ基部ハ褐色ノ膜鞘ニ纏セラレ、瘦長ナル針狀ニシテ稍軟ナリ、横断面ハ半圓形、維管束ハ二箇、樹脂道ハ數箇アリテ葉縁ニ接ス。雌雄同株。四月新條ノ頂上ニ二乃至三箇ノ紫色雌花ヲ着シ種鱗ニ二卵アリ、其下部ニ橢圓狀ノ雄花ヲ着シ種鱗ニ二約アリテ無數ノ黄色花粉ヲ釋出ス。毬果ハ木質ニシテ固ク、卵狀圓錐形、長サ4-6cm 徑3cm許、種鱗ハ卵狀長橢圓形ニシテ先端面ハ菱形又ハ不齊五角形ヲ成シ中心ニ臍點アリ。種子ハ倒卵形、長サ5mm、約三倍長ノ披針形翼ヲ有ス。材ハ建築材・器具材・土木用材等ニ用ヒラレ、又樹脂ヲ採リ、又てれびん油ノ原料ト成ル。種々變種アリテたぎょうしょうハ能ク庭前ニ栽エラレ多枝脚部ヨリ拳出シ樹冠圓ク、往々枝上ニ多數ノ毬果ヲ着生ス。和名赤松ハ其幹赤褐色ヲ呈スルヨリ云ヒ、雌松ハ其葉軟カナルヨリ云フ。漢名赤松(誤用)、日本ノまかつハ支那ニ産セズ故ニ嚴格ニ言ハバ則チ日本ノまかつ松ノ字ヲ適用スルハ非ナリ、松ハ即チ *P. Massoniana* Lamb. カ或ハ *P. sinensis* Lamb. カナリ。

第 2706 圖

ま  
つ  
科



くろまつ 一名 をまつ  
*Pinus thunbergii* Parl.

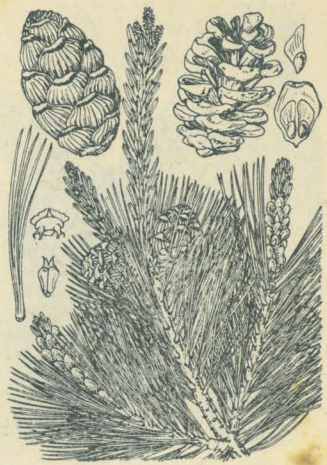
我邦南ハ九州ヨリ北ハ東北地方ニ互リテ海岸地方ニ多ク自生シ又往々植林シアル常緑喬木ニシテ大ナル者ハ高サ40m 徑2mニ達スルアリ。樹皮ハ暗褐色ヲ呈シ下部ハ粗厚ナル龜甲狀ニ分裂ス。主枝ハ車輪狀ニ出デ分枝シテ多葉ヲ着ケ、嫩條ハ帯白色ナリ。葉ハ粗強ナル針狀ニシテ濃緑色ヲ呈シ、二條變生シテ股狀ヲ成シ其基部ハ褐色鞘ヲ以テ之レヲ纏シ、其横断面ハ半圓形、維管束ハ二箇、樹脂道ハ三箇アリテ葉肉中ニ埋没スルヲ常トス。四月、直立セル新條ノ上端ニ球形ヲ成セル數箇ノ紫紅色雌花ヲ着シ種鱗ニ二卵アリ、雄花ハ新條ノ下部ニ簇着シ長橢圓狀圓柱形ヲ成シ鈍頭ニシテ長サ15-18mm許アリ、苞鱗ハ二約アリテ黄花粉ヲ釋出ス。毬果ハ卵狀圓錐形、長サ5-7cm 徑3cm許、種鱗ハ卵狀長橢圓形、先端面ハ不齊菱形、先端ハ圓形、種子ハ各二箇菱狀橢圓形、長サ5mm、翼ハ披針形又ハ倒卵狀披針形ニシテ種子ノ約三倍アリ。材ハ建築・土木用等ニ用ヒラレ、幹ヨリ松脂ヲ採リ、葉ヨリ香油ヲ採ル。種々變種アリ、就中にしきまつ (*var. corticosa* Mak.) ハ其樹小ナルレドモ龜甲狀ニ分裂セル外皮ハ極メテ厚ク奇形ヲ呈ス。瀬戸内海中ノ或ル島ニ産スト云フ。和名黒まつハ其幹暗色ナルヲ以テ云ヒ、黒まつハ其葉強剛ナルヲ以テ云フ。漢名黒松(誤用)

きたごえふまつ  
一名 ごえふまつ(同名アリ)  
*Pinus pentaphylla* Mayr.

(=*P. parviflora* Sieb. et Zucc. partim; *P. parviflora* S. et Z. var. *pentaphylla* Henry.)  
我邦中部以北ノ山地ニ多ク、又能ク庭園ニ栽培セララル。常緑喬木ナルレドモ庭園ニハ小樹多シ。幹ハ直立シテ枝葉繁茂シ高サ20-30m、徑80cmニ達スル者アリ、樹皮ハ鱗片ハごえふまつ即チひめこまつヨリ大形ナリ。葉ハ五針葉束生シ、其形状亦ひめこまつニ酷似スレドモ之レヨリ短剛ニシテ下面ニ白色ノ氣孔條著シ、雌雄同株ニシテ五月開花シ、雄花ハ新條ノ着テ卵狀橢圓形或ハ長橢圓形ヲ呈シ、苞鱗ニ二約アリ、雌花ハ新條ノ頂ニシテ紫紅色ヲ呈シ橢圓形ヲ成シ、種鱗ニ二卵アリ。成熟セル毬果ハ卵狀圓錐形ニシテ先端漸ク鈍尖シ長サ5-6cm 徑3cm 内外アリ。種子ハ橢圓形ニシテ長サ1cm許、翼ハ種子體ヨリ稍長キヲ以テひめこまつト區別セラル。材ハ其用途廣ク、又庭園樹ノ外、盆栽トシテ賞用セラレ、中ニしもふりごえふ(葉ニ白色氣孔條著ルシ)アリ。和名北五葉まつハ新稱ニシテ此種主トシテ中部日本ヨリ北日本ニ多クケレバ云フ、今日植物學界ニテハ之レヲごえふまつト稱スレドモ元來此稱呼ハ普通ひめこまつナル商品ニ用キ者ナリ。

第 2707 圖

ま  
つ  
科



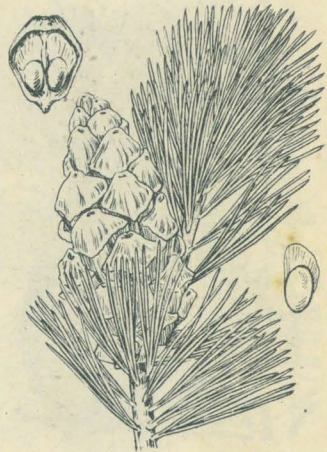
ごえふまつ 一名 ひめこまつ  
*Pinus pentaphylla* Mayr.

var. *Himekomatsu* Makino.  
(=*P. Himekomatsu* Miyabe et Kudo;  
*P. parviflora* Sieb. et Zucc. partim.)

我邦南部ヨリ北地ニ互リ山地ニ生ジ又庭園ニ栽植スル常緑樹ニシテ枝葉繁茂ス。幹ハ直徑高サ30m 徑1m 達シ、外皮暗灰色ニシテ老樹皮ハ不齊形ノ小鱗片ト成リテ剝脱シ、主枝ヲ水平ニ張出ス。葉ハ五條ヲ以テ枝上ニ着キ瘦針形、剛直ナラズ、長サ3-6cm許、多少彎曲シ上方ノ縁部ニ疎微鋸齒アリ、上面深緑色、下面ハ白色ノ氣孔條顯著ナラズ或ハ之レ無キ者アリ、横断面ハ三角形、樹脂道ハ凡ソ二箇アリテ上面ノ表皮ニ沿ヒ存在ス。五月開花シ、雌雄同株。雄花ハ新條ノ下部ニ着キ卵狀長橢圓形、苞鱗ニ二約アリテ黄色花粉ヲ釋出シ、雌花ハ新條ノ頂ニシテ橢圓形ニシテ紫紅色或ハ緑色ヲ呈シ種鱗ニ二卵アリ。毬果ハ長卵形、長サ5-6.5cm、徑3-4cm、先端鈍形ヲ呈スルヲ常トス。種鱗ハ厚剛ニシテ圓狀楔形ヲ成シ十七乃至十八片アリ、種シテ乾ケバ開キ兩縁ハ内卷ス。種子ハ倒卵形ニシテ種子體ヨリ短キ翼ヲ具フ。材質密ニシテ軟ナレバ種々ノ用ニ供セラル。和名五葉まつハ其葉五條一束ヲ成セバ斯ク云ヒ、舊クヨリ稱ヘ來レル通名ニシテ主トシテ中部日本ヨリ南日本ニ生ズル本品ヲ基トセシ者ナリ、故ニ此稱ハ本品ニ附スルヲ適當トス。姫こまつハ其葉五條ノまかつ・あかまつニ比スレバ小ニシテ力無クケレバ云フ。漢名五葉松・五針松(共ニ誤用)

第 2708 圖

ま  
つ  
科



てうせんまつ (海松・新羅松)  
一名 てうせんごえふ・からまつ  
*Pinus koraiensis* Sieb. et Zucc.

(=*P. mandshurica* Rupr.)  
元來本種ノ主産地ハ朝鮮ナリト雖モ亦我邦中部ノ山林中ニモ混生シ又栽植セララル。常緑喬木ナリ。幹ハ幹ハ直徑高サ30m 徑1m 許ニ達シ、樹皮ハ薄ク灰褐色ヲ呈シ不齊ノ鱗片ト成リテ剝脱シ、嫩條ハ細毛アリ。葉ハ五條束生シ粗強ニシテ尖リ三稜柱狀ヲ成シ殆ド眞直、内面帶白、長サ8-13cm許アリテ上方ニ微牙齒アリ、横断面ハ三角形、樹脂道ハ三箇アリテ葉肉中ニ埋没シ棱角ニ近ク位置ス。嫩葉脚部ニハ數鱗片ヨリ構成スル著シキ褐色鞘アリテ之レヲ纏スレドモ成葉ニ至レバ離脱シテ僅ニ其殘片ヲ存スルニ過ギズ。五月開花シ雌雄同株。雄花ハ新條ノ下部ニ着キ卵狀圓形ニシテ紅黄色ヲ呈シ、苞鱗ニ二約アリテ黄花粉ヲ吐出ク。雌花ハ新條ノ頂ニ出テ卵狀圓錐形ニシテ苞鱗ハ帶紫色、種鱗ハ緑色ニシテ二卵ヲ有ス。毬果ハ大形、卵狀圓錐形、長サ10-15cm、徑6-7cmニ達スル者アリ、菱狀廣卵形ノ鱗片相層リ上部背反ス。種子ハ每鱗片ノ凹窩内ニ二顆ノツツ相並ビ倒卵形ニシテ大キク、長サ1-1.5cm 内外、翼ヲ缺ク。油ヲ含メル白色ノ胚乳ヲ食用トシ、材ハ建築・器具材等ニ使用ス。和名朝鮮まつハ朝鮮ニ多クケレバ云ヒ、其葉五針一束ヲ成セバ朝鮮五葉ト呼ビ、國外産ト信ジテ之レヲ唐松ト稱セリ。

第 2709 圖

ま  
つ  
科

